



## 浜松市動物園ワタボウシタマリンの搬入について

浜松市動物園では、令和5年6月13日（予定）に甲府市遊亀公園附属動物園（山梨県甲府市）、公益財団法人日本モンキーセンター附属世界サル類動物園（愛知県犬山市）からワタボウシタマリンのオス2頭、メス1頭を搬入しますのでお知らせします。

### 記

#### 1 個体情報について

(1) 愛称：ぐ〜

生年月日：2014年6月4日（9歳）

性別：オス

出生地：伊豆シャボテン動物公園

搬出地：甲府市遊亀公園附属動物園

(2) 愛称：シトラス

生年月日：2018年8月27日（4歳）

性別：オス

出生地：公益財団法人日本モンキーセンター附属世界サル類動物園

搬出地：公益財団法人日本モンキーセンター附属世界サル類動物園

(3) 愛称：シズク

生年月日：2016年12月9日（6歳）

性別：メス

出生地：公益財団法人日本モンキーセンター附属世界サル類動物園

搬出地：公益財団法人日本モンキーセンター附属世界サル類動物園

#### 2 撮影について

搬入日当日の取材・撮影については、安全管理上、お断りさせていただきます。

公開は後日となりますので、浜松市動物園公式ホームページ等でお知らせします。

#### 3 経緯

公益社団法人日本動物園水族館協会生物多様性委員会のワタボウシタマリン管理計画に基づき、繁殖をめざすため、ブリーディングローン（※）により搬入することになりました。

※ブリーディングローンについて

繁殖を目的とした動物の貸借契約のこと。動物園間で個体を移動させることによって、新たなペアを形成し、繁殖に寄与することを目的としています。



4 当園での飼育状況（令和5年6月6日現在）

1頭（メス）

5 日本国内の飼育状況（令和4年12月31日現在）

日本国内の飼育状況：17園 74頭（オス34頭、メス40頭）

資料：2022年ワタボウシタマリン国内血統登録台帳

【（公社）日本動物園水族館協会】

【参考】

●ワタボウシタマリン（霊長目 オマキザル科）

（ワシントン条約附属書I、IUCNレッドリスト：CR（絶滅危惧A類））

学名 *Saguinus oedipus*

英名 Cotton-top Tamarin

分布 コロンビア北西部

生態等 頭胴長 24～30cm、尾長 30～40cm、体重 400～600g ほどの小型のサル。頭頂部の羽毛は肩まで達するほどの白く長い冠毛が特徴的である。顔や耳介の皮膚は黒く、耳介には体毛がなく裸出する。熱帯雨林に生息し、昼行性の活発的なサルでほとんどを樹上で暮らしている。8～10ha の行動圏内でつがいとその子供たちからなる家族を形成して生活している。主食は、昆虫と果実だが小動物や花、葉、樹脂、樹液、樹皮なども食べる。産児数は1～3頭だが2頭産むことが多い。

写真：左から「ぐ〜」、「シトラス」、「シズク」



写真提供：甲府市遊亀公園附属動物園

公益財団法人日本モンキーセンター附属世界サル類動物園